

登録コード:MH168300 開講年度:2026		授業科目区分	保健師コース 必修
科目名	公衆衛生看護支援論Ⅲ（母子・成人・精神・感染症等各論） Public Health Nursing Methodology Ⅲ		
担当教員	五十嵐 久人 他 石田 史織・富澤 真澄		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/3年 後期(集中) 集中・不定期		
単位数、講義室	1単位	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標
	MH22カリ・保健, MH20カリ・保健		
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	⇔	多様な対象に応じた保健師の支援技術を理解する。
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。	⇔	支援を実施する際の多職種・他機関との連携の必要性と方法を理解する。
	MH23カリ・保健・看護		
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。 ≪科学的探求力≫変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	⇔ ⇔	多様な対象に応じた保健師の支援技術を理解する。 支援を実施する際の多職種・他機関との連携の必要性と方法を理解する。
授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	地域に生活する個人、家族、集団を対象として、健康レベルや地域特性に応じた公衆衛生看護活動の支援の方法論について保健活動の実際を通して学び、健康の保持増進と疾病予防のための知識・技術を習得することを目的とします。 および、本授業は男女共同参画に関する内容を含み、担当教員の地域における保健師、看護師、企業内専門職としての実務経験を活かして講義を行います。 本授業は、これまでに学んだ各領域の授業内容を基礎として、地域での支援方法を検討するものです。		
授業計画	第1回 母子保健 第2回 発達と障害、育児不安や虐待 第3回 成人保健 第4回 感染症対策1(予防接種) 第5回 感染症対策2(HIV/AIDS,STDS,結核他) 第6回 精神保健対策1 第7回 精神保健対策2 第8回 高齢者 第9回 難病 第10回 歯科保健 第11回 社会の行動理論(コミュニティ開発、イノベーション普及モデル等) 第12回 乳幼児健診・新生児訪問 第13回 健康学習会の技術(ファシリテーション、プレゼンテーション) 第14回 地域保健計画(地域づくり型) 第15回 地域保健計画(地域づくり型)、授業アンケートの実施 第16回 筆記試験 ※1月から2月に集中講義で実施する為、日程は決まり次第連絡します。また、初回の授業で授業計画や進め方などのガイダンスを行います。		
授業の進め方	講義、パワーポイントによるスライド、視聴覚教材を用いた学習、グループワーク、および演習で進めます。 それぞれの授業の中で個人やグループで取り組む課題を課します。 それらの課題を通してより実践的な知識や技術を身につけることを目指します。		
テキスト、教材、参考書	標準保健師講座② 公衆衛生看護技術 標準保健師講座③ 対象別公衆衛生看護活動 国民衛生の動向		
成績評価の方法	筆記試験(70点)、課題レポート(30点)で評価します。ただし、筆記試験は100点満点で60点以下は不合格とします。		
成績評価の基準	筆記試験は、授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」とします。 課題レポートは、課題に対して適切な内容のレポートとなっているかを評価します。 秀：100－90点 優：89－80点 良：79－70点 可：69－60点		

事前事後学習の内容	【事前学習について】 毎回の授業の終わりに、次回の授業までに予習しておくべき内容を指定します。 【事後学習について】 毎回の授業の終わりに、授業内容について確認すべき内容を提示します。 公衆衛生看護支援論Ⅲは、健康科学論、公衆衛生学、医療社会学、保健・医療・福祉政策論、疫学・保健統計などの授業を基盤として、看護学（基礎・成人・老年・母性・小児・精神）についてすでに学んだ内容を土台に学びます。 各科目を別の内容と捉えず、これまでの学びと常にリンクさせて授業に臨んでください。 授業で学習した項目や提示された内容について、インターネットや文献等を用いて、学習を深めていただけることを期待します。 本授業の単位習得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。授業時間30時間（2時間×15回）+自己学習時間15時間（1時間×15回）=45時間
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	科目を担当する教員は学外指導等で不在となることが多いので、あらかじめe-mailか電話で在室をご確認ください。 質問への対応：五十嵐久人 higaras@shinshu-u.ac.jp 石田史織 shioriis@shinshu-u.ac.jp 富澤真澄 masumitmzw@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時（要事前連絡） 保健学科中校舎4階 五十嵐久人研究室 随時（要事前連絡） 保健学科中校舎4階 石田史織研究室 随時（要事前連絡） 保健学科中校舎3階 看護助教・助手研究室